

子 育 料 目	注1) 新規 事業 分限 存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) アロマ 分限	実施方法	注4) ストラ ンケー 分限	実施体制	予算額(千円)					事業目標	達成率等の概要					
			対象 要所	性別	年 齢						対象者 数	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			平成34年度	平成35年度			
2.2.4 5.6		人間ドック時 のオリエン テーション	全て	男女 74	40 加入者 全員	1	アロマ	人間ドック受診時の待ち 時間にご利用を 使って情報提供	ワ	医師・看護師・保健師に よるアロマイベントの作 成	人間ドック受診時の待ち 時間にご利用を 使って情報提供	生活習慣病予防・がんの早期発見・早期治 療への情報提供	・特定保健指導は、全社との連携 により、業務時間外に特定保健指 導への参加が可能なお、実施率も 年々。 ・健康自前の保健師・栄養士によ る保健指導により、メタボ該当者 ・予備軍および特定保健指導対 象者の割合は年々減少。他職種と 比較しても低い。 ・男子マラソン(健康回対象者)が大きく増加傾向(2016年 度：対象者189名-2017年度 ：対象者297名で増加分+10 8名) ・今後の前向き者の増加を見据 え、60歳以上を対象としたアロ マプログラムをスタート ・マラソン等の要診制は大きく 改善 ・一方、腫瘍科・高血圧のメタボ 予防については、認知できない者 や同意を促す割合が増加傾向 ・新病対象者も増加して発生 ・女性については、乳がんだけで なく、子宮頸がん検診の要診率UP が課題 ・胃がん検診は人間ドックだけし が実施していない ・肥満血液検査で陽性となり、内臓 脂肪を減らした29.6%の方に、 がん予防や遺伝子がん発見されて いる。よって、再検査で内臓脂肪 量を減らしている方の中にも、 一定割合でがん予防のメタボを 保持している方がいると考えられ る ・全体の受診率は、26.6% (前 年比-1.2%) ・30代男性、女性の受診率が全 面と比較して高いが、今後の対策 の重要課題 ・がん検診・マラソンプログラムを 健診に導入している事により、全 面と比較して他の健康状況は出遅 ・健康増進にも良好 ・1日の健康回数は多く、他の 健康に対する意識は高いと考察									
		オリエンテーション実施回数【実績値】140回【目標値】平成30年度：137回 平成31年度：136回 平成32年度：135回 平成33年度：135回 平成34年度：135回 平成35年度：135回 人間ドック実施時に実施するアロマイベントを使用したオリエンテーションの回数																		D判定受診率【実績値】72.2%【目標値】平成30年度：75% 平成31年度：80% 平成32年度：85% 平成33年度：90% 平成34年度：93% 平成35年度：95% D判定受診率の向上		

注1) 研究事業種別 注2) 対象者 注3) 対象者 注4) 実施方法 注5) 実施体制	予備調査(予)					事業目標	影響範囲の調査
	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢		

注1) 研究事業種別 注2) 対象者 注3) 対象者 注4) 実施方法 注5) 実施体制	予備調査(予)					事業目標	影響範囲の調査
	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢		
1.2.3 産前産後の重症 4.5.6 心不全	18 被保険者 全て 男女 74 者	産前産後の重症化予防	産前産後の重症化予防				

注1) 研究事業種別 注2) 対象者 注3) 対象者 注4) 実施方法 注5) 実施体制	予備調査(予)					事業目標	影響範囲の調査
	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢	対象者 性別 年齢		
要再検査率【実績値】 - % 該当者の要再検査率	【実績値】 平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%	HbA1c判定薬【実績値】 - % 該当者の要再検査率	【実績値】 平成30年度：0% 平成31年度：0% 平成32年度：0% 平成33年度：0% 平成34年度：0% 平成35年度：0%				
要再検査率【実績値】 - % 該当者の要再検査率	【実績値】 平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%	HbA1c判定薬【実績値】 - % 該当者の要再検査率	【実績値】 平成30年度：0% 平成31年度：0% 平成32年度：0% 平成33年度：0% 平成34年度：0% 平成35年度：0%				

